

令和4年度 音楽科《第2学年》年間指導計画					
音楽科教科の目標 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。 （２）音楽表現を創意工夫をすることや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 （３）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。					
音楽科第2学年の目標 （１）曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。 （２）曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 （３）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。					
※【知】は「知識・技能」、【思】は「思考・判断・表現」、【態】主体的に学習に取り組む態度					
月	単元名	学習内容	評価規準		
4	鑑賞「交響曲第5番：運命」	曲の形式をを理解しながら鑑賞する。	【知】 【思】 【態】	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/C 【思】 A/C 【態】 A/B
5	歌唱「夏の思い出」	情景を思い浮かべながら歌唱する。	【知】 【思】 【態】	・創意工夫を生かした表現で歌うための必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/B/C 【思】 A/B/C 【態】 A/B/C
6	音楽鑑賞教室の事前学習「フルタハ」	オーケストラの音楽について	【知】 【思】 【態】	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/C 【思】 A 【態】 A/B
6～3	合唱「課題曲」	声部の役割や全体の響きに関心をもち音楽表現を工夫する学習に取り組む。	【知】 【思】 【態】	・創意工夫を生かした表現で歌うための必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/B/C/D 【思】 A/B/C 【態】 A/B/C
7	合唱コンクールの「選択曲」鑑賞	合唱コンクール「選択曲」の決定と鑑賞	【思】	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	【思】 A
8～9	能「敦盛」	能に親しみその音楽を味わう	【知】 【思】 【態】	能の特徴とその背景となる文化。歴史との関連、音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 音色、リズム、速度、旋律を知覚しそれらの働きが生み出す特質や、雰囲気を感受している。	【知】 A/D 【思】 A 【態】 A/B
10～12	「課題曲」「選択曲」	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をする。	【知】 【思】 【態】	・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/B/C/D 【思】 A/B/C 【態】 A/B/C
1	「アイーダ」観賞	オペラに親しみ音楽を味わいながら聴く	【知】 【思】 【態】	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/D 【思】 A/C 【態】 A/B
1～3	「課題曲」「選択曲」	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をしよう	【知】 【思】 【態】	・創意工夫を生かした表現で歌うための必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/B/C/D 【思】 A/B/C 【態】 A/B/C